

全県共通事業重点メニュー「食品ロス削減事業～食品ロス削減で脱温暖化大作戦～」

事業概要

「食品ロス」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品をいう（消費者庁）。
 「食品ロス」は、世界全体で増加傾向にある。また、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の中で、世界全体の食品廃棄を半減させると記してあり、世界を取り巻く課題である。
 環境づくり事業の一環として、「食品ロス削減（2000年度と比べて、2030年度に半減）」を目的に、食品ロスを啓発するキャンペーンを展開する公衛協を支援した。

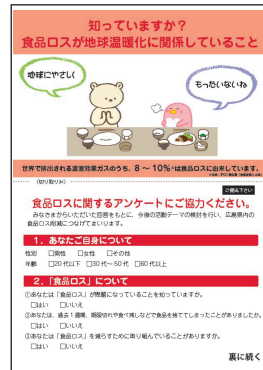
事業内容

令和7年度は、より多くの住民に食品ロス削減の重要性を伝え、行動変容のきっかけを創出することを目的として、イベントにおける啓発活動を強化した。また、昨年度に引き続き、住民の意識把握を図るため、選択式アンケートを実施した。

さらに今年度の新たな取り組みとして、公衆衛生推進委員を対象に「購入食材の追跡調査」を実施した。本調査は、食材の購入から消費に至る過程を可視化し、食品ロス発生の要因および改善の可能性を検討するための基礎的なデータを収集することを目的として実施した。

【取り組み内容】

- ①食品ロス削減の実践呼びかけ（13件）
 お祭りの公衛協ブースやステージイベントで、展示やクイズ大会を実施し、来場者に食品ロスについて学んでもらった。
- ②「食ロス」出前講座（6件）
 推進委員の集まる場や、公衛協が主催する研修会で食品ロスをテーマにした学習会を開催した。
- ③購入食材の追跡調査（2件）
 所定のチェックシートを使い、購入後の食材の取り扱いについて調べた。



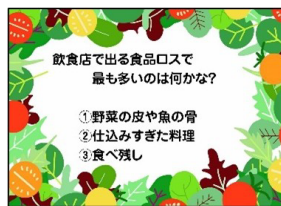
アンケート



購入食材の追跡調査

【啓発グッズ】

- ①「食品ロス」クイズ学習教材（3 択式22問）
 対象：小学校中学年以上（4セット）
 A 3サイズ・カラー ラミネート加工
 表に問題、裏に回答と簡単な解説を表記
- ②「食品ロス」クイズ学習教材（3 択式10問）
 対象：小学校低学年以下（3セット）
 A 3サイズ・カラー ラミネート加工
 表に問題、裏に回答と簡単な解説を表記
- ③「食品ロス」学習パネル（4セット）
 A 1サイズ・カラー・3枚組
- ④食品ロスYes/Noチャート（4セット）
 A 1サイズ・カラー・2枚組
 A 3サイズシール貼付用紙付き



クイズ：小学校中学年以上



クイズ：小学校低学年以下

【ノベルティ】

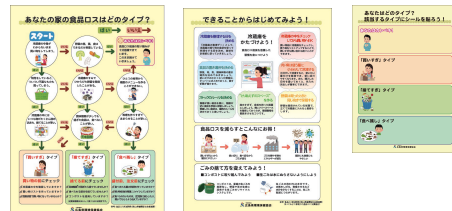
- ①食品ロス対策マグネット
- ②ジップロック
- ③鮮度保持袋



ノベルティ（3種類）



「食品ロス」学習パネル



食品ロスYes/Noチャート

令和7年度の実績

食品ロス削減事業の取り組みを促進するため、以下の通り啓発活動を行った。

No.	公衛協名	実施内容	実施日	参加人数
1	福山市西部ブロック	「食ロス」出前講座	5/17	45人
2	廿日市市佐伯	「食ロス」出前講座	5/24	18人
3	三次市三和地区	「食ロス」出前講座	5/24	40人
4	府中町	購入食材の追跡調査	6～8月	150人
5	江田島市	「食ロス」出前講座	7/5	27人
6	江田島市	食品ロス削減の実践呼びかけ	8/9	中止
7	大崎上島町	「食ロス」出前講座	8/18	28人
8	海田町	購入食材の追跡調査	9月	79人
9	世羅町	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/4	300人
10	竹原市	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/5	101人
11	府中町	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/11	200人
12	三原市	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/25	約200人
13	府中市	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/25	80人
14	福山市樹徳学区	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/26	約800人
15	福山市道上学区	食品ロス削減の実践呼びかけ	10/26	約400人
16	東広島市川上地区	「食ロス」出前講座	11/6	44人
17	世羅町津名地区	食品ロス削減の実践呼びかけ	11/15	20人
18	世羅町甲山地区	食品ロス削減の実践呼びかけ	11/22	20人
19	安芸太田町	食品ロス削減の実践呼びかけ	11/27	13人
20	世羅町津久志地区	食品ロス削減の実践呼びかけ	11/30	40人
21	東広島市川上地区	食品ロス削減の実践呼びかけ	3/8	約300人



出前講座(江田島市)



社協フェスタ
(世羅町)



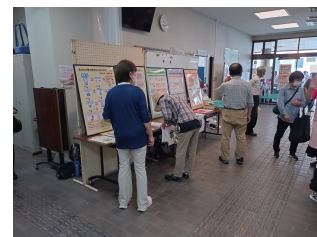
津久志地区ウォーキングでの
アンケート回答(世羅町)



ふれあい祭り(福山市道上学区)



つばき祭り
(府中町)



健康福祉まつり(竹原市)

成果

- 13公衛協から21件の申請があり、講師派遣や啓発グッズの貸し出し、ノベルティの提供を行った。
- 食品ロスの認知度は93%で、昨年度の調査結果(95%)よりも若干低くなった。
- 過去一週間に、食品を捨ててしまった人の割合は、47%で、昨年の調査結果(53%)よりも低くなった。
- 購入食材の追跡調査より、ほとんどの食材が購入から2週間以内に調理に供され、余った食材は保存されていることが分かった。

令和8年度に向けて

- 令和8年度も引き続き、全県共通事業重点メニューとして展開する。
- 新規の取り組みとして、廃棄食品に関するシールアンケートを行う。
- 効果的な食品ロス対策を行うため、廃棄しがちな食品の調理の工夫や、期限表示などの正しい理解のための啓発活動を今後も継続する。
- 若い世代の参加促進と省資源・省力化のため、QRコードを使ったWebアンケートを導入する。